

間人宿禰大浦の初月の歌二首

二八九番

天あまの原はら 振りふ放さけ見みれば 白しら真ま弓ゆみ 張はりてかけた
り 夜道よみちはよけむ

二九〇番

倉橋くらはしの 山やまを高たかみか 夜よごもりに 出いで来くる月つきの
光ひかり乏ともしき

小田事をだのつかさの势能山せのやまの歌一首

二九一番

真木まきの葉はの しなふ势能山せのやま しのはずて 我わが越こ
え行ゆけば 木この葉は知りけむ